

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	緑ヶ丘児童デイサービスセンターひかり		
○保護者評価実施期間	2024年 1月 14日		～ 2025年 2月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	2024年 1月 14日		～ 2025年 2月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 7日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの能動的権利の保障	ご意見箱(随時)・児童会(月1回)の実施より、こどもの主体性や意思表示・表出、自己選択・決定が出来るよう支援を行っています。コミュニケーションツールを活用しながら、こどもの意見を個別支援計画や支援プログラム、お楽しみのイベントへ反映し支援を行っています。外部講師による絵画教室といった情操教育も実施しています。	職員間の振り返りの他、こどもの振り返りや評価の時間を設け、次のステップへ向けた取り組みを行っています。
2	個別の特性に応じた支援と環境調整	アセスメントをもとに職員間で共通理解を図り、事業所全体の構造化に加え、個々の学習スタイルに合わせた視覚ツール等を活用しています。一人ひとりの「わかる」「できる」を支援しています。行動分析を行い、環境調整を図り自己肯定感・自己有用感を高めながら過ごすことができるよう支援しています。	支援ツールを活用しながら、余暇活動の幅を広げ、地域資源を活用し自立した地域生活を目指します。
3	ペアレント支援(定期的な面談や保護者茶話会・親子行事の実施)	面談時間を調整しながら個別にも対応しています。発達状況等ふまへ保護者の同意をいただき、支援計画の作成を行っています。関係機関も交えた相談支援も実施しています。保護者茶話会や親子行事にてペアレント支援を行っています。	OB,OGの保護者イベントでの交流など、インフォーマルな資源も活用していきます。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の他のこどもとの活動する機会	公園や図書館活動時に交流がある程度。児童館や児童クラブとの交流の機会について不足している。	交流日や事業所開放日等を検討していきたいと思います。
2	非常時等のマニュアル周知について	BCP計画や安全計画・各避難訓練やマニュアルについて計画等策定・実施しているが、周知方法が不足している。	広報や連絡帳、お知らせの文書等の活用、茶話会や親子行事といったイベントの際にもアナウンスしていきたいと思います。
3	活動スペースの確保	長期休みが時間帯によって、混雑してしまう時がある。個々のスケジュールや活動エリアを調整し、支援体制を整えています。	シナリオシートにて支援体制の可視化を継続し、併せてリスクマネジメントも徹底していきたいと思います。